

ESD による地域創生の可能性と今後の展開

- Prospects and ongoing challenges of regional revitalization based on ESD-

【日時】 2017年11月11日(土) 13:00-17:45 & 11月12日(日) 10:00-15:15

【会場】 立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階 多目的ホール

日本では、ESD 研究所と ESD 研究連携に関する覚書締結自治体等をはじめとして、ESD による多様な地域づくり（地域創生）の取組が始まっており、その成果とともに地域特有の課題を抱えているのが現状です。本シンポジウムでは、日本の ESD による地域創生の取組の成果と課題を紹介し、世界各国で行なわれている多様な事例報告をふまえて、ESD による地域創生の在り方についての共通理解の促進や今後の可能性について議論を深めます。同時通訳あり（日本語⇄英語）。各日定員 100 名程度。

◆ 1日目 11月11日(土) 13:00-17:45 (開場 12:30)

13:00-13:15 開会のあいさつ

13:15-13:45 立教大学 ESD 研究所による ESD に基づく地域創生プロジェクト：阿部 治（立教大学 ESD 研究所所長）

13:45-15:05 日本の ESD に基づく地域創生の取り組み

13:45-14:25 地方自治体の事例①長崎県対馬市：前田 剛（対馬市しまづくり推進本部市民協働・交通対策課主任）

14:25-15:05 地方自治体の事例②長野県泰阜村：辻 英之（NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター代表理事）

15:05-15:15 休憩

15:15-17:45 アジアの ESD に基づく地域創生の取り組み

15:15-16:05 韓国の事例：リー・ソンキョ（清州教育大学校教授）

16:05-16:55 インドの事例：マダビ・ジョシ（環境教育センター 上級プログラムディレクター）

16:55-17:45 台湾の事例：ワン・チャオメイ（財団法人観樹教育基金 環境教育部長）

17:45- 閉会のあいさつ

◆ 2日目 11月12日(日) 10:00-15:15 (開場 9:30)

10:00-10:05 開会のあいさつ

10:05-10:20 1日目の総括：阿部 治（立教大学 ESD 研究所所長）

10:20-14:05 ヨーロッパの ESD に基づく地域創生の取り組み

10:20-11:10 スウェーデンの事例：レイフ・オストマン（ウプサラ大学教授）

11:10-12:00 イギリスの事例：香川文代（NGO サステイナビリティ・フロンティアーズ リサーチディレクター）

12:00-12:50 ドイツの事例：トーマス・ホフマン（カールスルーエ教員養成校 地理学部長）

12:50-13:50 休憩

13:50-15:15 パネルディスカッション： ESD に基づく地域創生の可能性と今後の展開

15:15 閉会のあいさつ

【参加申込み】 メールにて、件名に「ESD 国際シンポジウム参加申込み」と記載し、次の項目を明記の上、下記の申込先にご連絡ください。
氏名、所属、メールアドレス、参加希望日（11月11日(土)・12日(日)の両日またはいずれか）※参加費無料

申込・お問合せ先：立教大学 ESD 研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 / TEL 03- 3985- 4394 / E-mail: esdrc@rikkyo.ac.jp